

【イベント名】

令和7年度いきいきキャリアアップ事業in利府町 私をアップデートする時間～キャリアと自分を見つめて～

【開催概要】

| 開催日 | 時間 | 場所 | 参加人数 |
|---------------|-------------|-----------------------------|------|
| 令和8年1月30日（金） | 13:30～16:30 | イオンモール新利府 南館3階 イオンホール | 14名 |
| 主催 宮城県 共催 利府町 | | | |

プログラム

| | |
|--------|---------------------------------|
| 13:30～ | 開会 主催者挨拶 宮城県環境生活部 大沼 史柄 氏 |
| 13:40～ | 第一部「ゲストトーク」 |
| 14:40～ | 質疑応答 |
| 14:50～ | 休憩 |
| 15:00～ | 第二部「ワークショップ」 |
| 16:25～ | アンケート記入 |
| 16:30 | 閉会 |

ゲスト



リフラクタ株式会社 利府の丘果樹園 代表取締役 大津 京 氏

1983年宮城県仙台市生まれ。株式会社プレスアート「せんだいタウン情報S-style」の広告営業、カナダ・バンクーバーへの留学などを経て、有限会社マイティー千葉重にて商品開発・販路開拓業務、農と食のツーリズム開発事業等に約8年間従事。2023年4月より「JRフルーツパーク仙台あらはま」（仙台ターミナルビル株式会社）果樹栽培担当として勤務。2025年1月、リフラクタ株式会社を設立、同年3月、宮城県宮城郡利府町にて、梨農家としては女性初の新規就農者となった。「利府町観光協会観光梨園」を事業継承し、梨の生産、販売、観光梨園の運営を行っている。

第一部「ゲストトーク」

「出会いが実る場所～観光農園から広がる人・文化・知のつながり～」 リフラクタ株式会社 利府の丘果樹園 代表取締役 大津 京 氏

1. これまでの経歴

仙台生まれ。大学卒業後、広告会社で情報誌の営業を経験。広島勤務を経て、カナダ・バンクーバーへ留学。その後静岡で結婚・出産し、31歳で仙台に戻る。企画会社では約8年間、商品開発、農と食のツーリズム、観光コンテンツ開発、WEB・SNS制作など幅広い業務に従事し、マーケティング力や段取り力を身につけた。

2. 「怒りの30代」とキャリアの葛藤

子どもと夕食を共にする時間を大切にしたいという思いを軸に働き方を調整したが、一方で以前から希望していた食や観光の仕事の面白さを経験。やりがいのある仕事に充実感を感じていたが、パート勤務でありながら大きな責任と業務量を担い、家庭との両立や評価の不均衡に強い違和感を抱く。仕事、母、妻という複数の役割に追われ、時間にも心にも余裕を失っていった30代は、自身の生き方を根本から見直す転機となった。

3. 振り返りと自己分析

35歳で立ち止まり、自身の経験や強み、価値観を客観的に棚卸しすることで、「観光」が自分の原点であり、力の源であると再認識。過去の経験は無駄ではなく、積み重ねが次のステージにつながる階段であると捉えるようになる。

4. 新規就農への挑戦

キャリアの原動力として「観光」や「人との出会い」が大きな役割を果たしてきた。支援者や仲間とのつながりが、新たな人脈や活動の広がりにつながり、現在の取り組みへと発展してきた。農地・技術・資金がない状態からロードマップを描き、働きながら農業を学び、果樹栽培を修業。縁がなくなり、利府町唯一の観光梨園を事業継承し、1年目から収量・集客ともに成果を上げ、地域の支えの大きさを実感した。

5. これからの展望と大切にしたいこと

今後は農業と観光を軸に、学びや交流が生まれる場づくりを進め、多様な立場の人が自分に合った働き方で生きがいを感じられる会社・社会を目指す。そのために「自分を見つめ、自分で決めること」「夢を大切にすること」、そして課題を因数分解し、一つずつ行動する姿勢を大切にしている。葛藤や悩みを振り返りながら、自分の考えや状況を言語化・可視化し、柔軟に働き方や生き方を選択してほしいと伝えた。



第二部「ワークショップ」

テーマ：キャリアについて考える ファシリテーター：株式会社cue 代表取締役 浅利 賀名衣 氏

グループでワークシートを使用しながら、「これまでの棚卸」、「これからのキャリア」を考えるワークを実施。自己紹介後、「これまでの棚卸」（何歳くらい・その時の仕事や家事、仕事以外の自分自身の経験・その経験から得た知識や能力）をワークシートに記入し、自分自身を振り返りました。

記入した内容について一人ひとり発表し、グループの方から共感や長所のフィードバックを受けました。その後、「これからのキャリアを考えるワーク」（ありがたい姿になるための目標の設定：いつまでに何を始めるか）を具体的に記入し、前半と同じように発表・フィードバックを行い、それぞれが気づいたことを発表しました。多くの方が初対面でしたが、積極的に意見を交わしている様子が見られました。

【感想】※アンケートより抜粋

- ・（ワークショップでは）自分のことを言語化して、他の人にお話する。こういった機会は少なく、とても有意義だった。色々な考えがある。その人なりの人生がある。他の方も迷いはあるが、将来が漠然としていても進んでいってると感じ、良い刺激となった。もう少し時間が欲しかった。
- ・話すかも聞くかも大切だと言うことは日頃意識していましたが、聞き出す力はあまり意識した事がなく、日常会話だどできていたような気になっていましたが、いざ言われてやってみるとできてないんだなと感じた。
- ・人生を見つめ直す時間って大切だなと思った。

